

尾花沢牛取扱指定店緊急支援事業

概算事業費 17,000 千円
(内補正分 7,000 千円)

1. 事業目的

令和2年4月、飲食店・小売店・卸業者で構成する県内外の取扱指定店（84店）を対象に新型コロナウイルス感染拡大の影響を把握するため、アンケート調査を実施。回答者全体の75%が売り上げ減少と回答（最大9割減）。業界全体に閉塞感が出ている。

こうしたことから、取扱指定店への販売宣伝に対する支援や尾花沢牛の消費拡大につながる食事又は購入に対するクーポン券の発行等で牛肉消費を喚起する。

山形食肉公社枝肉価格	3月	▲13%	(kg単価 352 円減)
(対前年同月比)	4月	▲36%	(kg単価 1,024 円減) ※速報値

2. 事業内容（実施主体 尾花沢牛振興協議会）

(1) 尾花沢牛取扱指定店が行う販売促進の宣伝経費等に対する支援 (6,000 千円)

小売店・飲食店では通常営業が困難な状況であり、ネット通販やテイクアウト方式へ移行など業態を見直すところも増えている。そのため、継続して尾花沢牛を販売できる環境を整えるため、ネット広告、チラシ作成、販促物作成等に要する費用に対して支援していく。

(対象経費)	・チラシ、雑誌等への掲載費	・HPやSNS等による宣伝費
	・販促物等製作費	など (尾花沢牛の宣伝も兼ねることを条件)
(補助率)	10/10 (上限 50 万円)	

(2) 取扱指定店で利用できる尾花沢牛クーポン券の発行 (11,000 千円)

SNSを活用した大規模な消費喚起キャンペーンを実施。当選者に尾花沢牛クーポン券をプレゼントし、小売・飲食店における牛肉の消費拡大を促す。

キャンペーン宣伝経費	1,000 千円
尾花沢牛クーポン券	10,000 千円 (5,000 円×2,000 名)

3. 期待される事業効果

- 他産地に先駆けて行動することで大々的な宣伝効果が期待される。県内マスコミのほか、PRタイムスを活用し全国のメディアに発信。ブランドの認知度向上につながる。
- 取扱指定店に迅速な支援を行うことで、産地への信頼が生まれ、新型コロナウイルス終息後の更なる尾花沢牛取引量の増加が期待できる。